

3級認定講習会 競技規則テスト例題① (2020/2021)

1. オフサイドについて () に当てはまる言葉を記入しなさい

オフサイドポジションにいることは、(1) ではない。

競技者は、次の場合、オフサイドポジションにいることになる。

- ・ (2)、(3)、または (4) の一部でも、相手競技者のハーフ内にある (ハーフウエーラインを除く)、そして、
- ・ 競技者の (2)、(3)、または (4) の一部でも、(5) 及び (6) から2人目の相手競技者より相手競技者の (7) に近い場合ゴールキーパーを含むすべての競技者の (8) は含まれない。

ボールが味方競技者によってプレーされたか触れられた瞬間にオフサイドポジションにいる競技者は、次のいずれかによってそのときのプレーにかかわっている場合にのみ罰せられる：

- ・ 味方競技者が (9)、または、(10) をプレーする、または、(11) によってプレーを妨害する、または、
- ・ 次のいずれかによって相手競技者を妨害する：
 - ・ 明らかに相手競技者の (12) ことによって、相手競技者がボールをプレーする、または、プレーする (13) を妨げる。または、
 - ・ ボールに向かうことによって相手競技者に (14)。
 - ・ ボールは (15) か (16) 最初のコンタクトポイントを用いる。
 - ・ 自分の近くにあるボールを明らかにプレーしようとしており、この行動が相手競技者に (17) を与える。または、
 - ・ 相手競技者がボールをプレーする (18) に影響を与えるような明らかな行動をとる または、
 - ・ その位置にいることによって、次の場合にボールをプレーして (19) を得る、または、相手競技者を妨害する。
 - ・ ボールが、ゴールポスト、クロスバー、審判員または相手競技者からはね返った、あるいは、それらに当たって (20) が変わってきた。
 - ・ ボールが相手競技者によって (21) にセーブされた。

競技者がボールを直接受けたときに、オフサイドにならないことがらを3つあげなさい。

(22) (23) (24)

2. 第12条「ファウルと不正行為」について（ ）に当てはまる言葉を記入しなさい。

- ・不用意とは、競技者が相手に挑むときに（ 25 ）や（ 26 ）が欠けていると判断される。
または、（ 27 ）を欠いてプレーを行うことである。懲戒罰は必要ない。
- ・無謀とは、相手競技者が（ 28 ）にさらされていることを無視して、または、結果的に（ 28 ）となるプレーを行うことであり、このようにプレーする競技者は、警告されなければならない。
- ・過剰な力とは、競技者が（ 29 ）の力を用いて相手競技者の（ 30 ）を（ 28 ）にさらすことであり、このようにプレーする競技者には退場が命じられなければならない。

反スポーツ行為による警告

競技者が反スポーツ的行為で警告されなければならない状況は様々である。例えば：

- ・負傷を装って、またファウルされたふりをして（ 31 ）、主審を騙そうとする。
- ・プレー中、または主審の（ 32 ）を得ずにゴールキーパーと入れ替わる。
- ・直接フリーキックとなる反則を（ 33 ）に行う。
- ・相手の大きなチャンスとなる攻撃を（ 34 ）、または（ 35 ）するためにボールを（ 36 ）または（ 37 ）で扱う。
- ・相手の大きなチャンスとなる攻撃を（ 34 ）、または（ 35 ）するためにファウルを犯す。ただし、ボールをプレーしようと試みて反則を犯し、主審が（ 38 ）を与えた場合を除く。
- ・ボールをプレーしようと試みて反則を犯し相手競技者の決定的な得点の機会を阻止し、主審が（ 38 ）を与えた場合
- ・（その試みが成功しようとしまいと）ボールを手または腕で扱って得点をしようとする、あるいは、得点を阻止しようとする試みて失敗する。
- ・競技のフィールドに（ 39 ）マークを描く
- ・競技のフィールドから離れる（ 40 ）を得たのち、競技のフィールドから出る途中でボールをプレーする。
- ・サッカーに対して（ 41 ）に欠ける行為を行う。
- ・競技者が（ 42 ）の裏をかき、（フリーキックからも含め）意図的に味方のゴールキーパーに頭や胸、膝などでボールをパスする。ゴールキーパーに手または腕で触れたか否かは関係しない。
- ・プレー中、または再開のときに（ 43 ）で相手競技者を惑わす。